

小国町立病院外来診療体制

令和 3 年 3 月 1 日現在

診療科	午前 午後	受付	診察	診察室	月	火	水	木	金
内 科	午前	8:00-11:30	9:00-12:00	一 診	山形大 柳谷(稜)1・29 日 鈴木(祐)8・22 日 佐藤(諒)15 日	伊藤副院長	伊藤副院長	山川(洋)	伊藤副院長
				二 診	阿部院長 (29 日は休診)	山形大 奥本(和)	阿部院長 (31 日は休診)	阿部院長	山川(洋) (検査後)
				三 診	山川(洋) (検査後)				
	午後	14:00-15:00	14:30-15:30	一 診		伊藤副院長 (予約のみ)			
				二 診	山形大 菅原(心)	山形大 奥本(和)	山形大 今(孝) (31 日は休診) 山川(洋)31 日	伊藤副院長 4・18 日 山形大 小林(祐)11 日 佐藤(淳)25 日	山川(洋)
小 児 科	午前	8:00-11:30	9:00-12:00		山形大 阿部(祐)1 日 小林(信)8 日 藤井(隆)15 日 高橋(辰)22 日 石垣(隆)29 日	山形大 松内(祥)2・16・23 日 村中(あ)9・30 日	山形大 栗野(裕)3・17・31 日 藤井(隆)10・24 日	山形大 五十嵐(丈)4・18 日 目黒(亨)11・25 日	山形大 橋本(多)5・19 日 中村(和)12・26 日
	午後	13:30-14:30	13:30-15:00 (14:30 まで待合室に お越しください)						
整形外科	午前	8:00-11:30	9:00-12:00			公立置賜総合 土屋(匡)2・16 日 松木(宏)9・23 日 (30 日は休診)		公立置賜総合 岩崎(聖)4・18 日 大樂(勝)11・25 日	
産婦人科	午前	8:00-11:30	9:00-12:00						山形大 伊藤(泰)5・19 日 伊藤(友)12 日 深瀬(実)26 日
外 科	午前	8:00-11:30	9:00-12:00		山形大 高橋(良)1・8・22・29 日 岡崎(慎)15 日				
眼 科	午前	8:00-11:30	10:00-13:00			山形大 富樫(敬)			
耳鼻 いんこう科	午後	12:30-16:00	13:30-16:30 (16:00 まで待合室に お越しください)		山形大 窪田(俊)1・8・15・22 日 浅野(敬)29 日		山形大 金子(昌)3・10・17 日 浅野(敬)24 日 塩水(31)日		山形大 千葉(真)

診療科	午前 午後	受付	診察	月	火	水	木	金	土	日祝
歯 科 (予約制) ☎62-2513	午前	10:00-12:30	10:00-13:00	休 診	飯田 俊也	飯田 俊也	飯田 俊也	飯田 俊也	飯田 俊也	休 診
	午後	14:00-17:30	14:00-18:00		新潟大 羽賀(健)2・16 日 遠藤(諭)9・30 日 須田(大)23 日	新潟大 長谷部(大)3・17・31 日 片桐(渉)10・24 日	新潟大 須田(大)4・25 日 新美(奏)11・18 日	新潟大 渡辺(真)		
予防歯科や口腔外科の先生もおりますので、お口の中のこと全般的にご相談ください										

※外来診療体制は変更になる場合がありますので、電話で問い合わせてください。

診療日変更等のお知らせ

内 科	阿部院長	3 月 29 日(月)・31 日(水) 休診 (他医師の代診無)
	今(孝)医師	3 月 31 日(水) 休診 (山川医師の代診有)

整形外科	土屋(匡)医師	3 月 30 日(火) 休診
眼 科	3 月 9 日(火) 受付 10:30 終了	
小 児 科	3 月 5・12 日(金) 午後休診(町の乳幼児健診) ※新型コロナウイルス感染症の影響により、乳幼児健診日が変更 になる可能性があります。	



小国町立病院

<http://www.ogunibyoin.jp/>

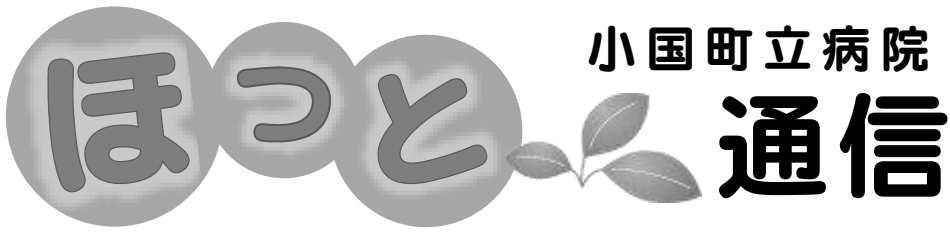
小国町立病院

検索

〒999-1356 西置賜郡小国町大字あけぼの一丁目 1 番地

☎.0238(61)1111 FAX.0238(61)1115

歯科直通 0238(62)2513



私たちは 地域の方々とともに歩み 医療を通して 安心のある地域づくりに貢献します

令和 3 年 3 月 1 日発行

第 89 号

発行：小国町立病院情報管理委員会

小国町立病院 外科、産婦人科休診のお知らせ
～ 外科は 5 月から、産婦人科は 10 月から休診となります ～

現在、当院は、内科、外科、整形外科、小児科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、歯科の 8 科体制で診療にあたっています。近年、人口の減少や、高度な医療を専門の病院に集約する医療資源の再編などが影響して、当院の経営は厳しさを増し、持続的な診療を確保するための方策を検討してきました。

去年は新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、診療控えなどから経営環境が急速に悪化しており、対策を前倒しして実施することとなり、令和 3 年 5 月から外科を、1 0 月から産婦人科をそれぞれ休診することになりました。

診療中の患者様や継続して受診が必要な患者様には、受診時に個別に相談の上主治医の変更などを行います。皆様にはご不便をおかけしますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

1 0 月以降予約の患者さんについては、当院から連絡いたします。

公費助成の期限が迫っています
忘れていませんか 高齢者の肺炎球菌予防接種



肺炎を起こす細菌やウイルスはたくさん種類がありますが、原因として最も多いのが肺炎球菌という細菌です。肺炎球菌ワクチンを接種することで、全ての肺炎を予防することはできませんが、重症化を防ぐことができます。

また、肺炎球菌ワクチンは接種後、5 年以上経過すると徐々に効果が低下するため、5~10 年毎の接種が推奨されています。

65 歳以上のかたは、該当する年度に 1 回のみ公費助成が受けられます。今年度該当になっているかたは、公費助成の期限が迫っていますので、ご確認ください。

※ワクチン接種を希望するかたは、事前の申し込みをお願いいたします。



新型コロナウイルス対策の現場から 院内感染対策の現場を知りたい！

世界中で新型コロナウイルスが猛威を振るう中、安心して患者さんに受診していただくために、当院で行っている感染予防対策を紹介します。

患者さんやご家族の協力のもと行っていること



入口での検温と消毒、マスク着用。



待合での患者さん同士の間隔の確保。



定期的な換気と環境面での衛生消毒の実施。



面会禁止のため、タブレット端末によるリモート面会の実施。

★発熱で受診するかたへ繰り返しお願い

37.5℃以上の発熱で受診するかた（最近発熱があったかたを含む）は、発熱外来へ誘導しますので、来院前に当院へ電話連絡（61-1111）をお願いします。また、不織布マスクを着用してください。

院内感染管理者に聞く！新型コロナウイルス感染防止の新しい取り組み

院内では、感染症対策の経験が十分な医師をはじめとして看護師や薬剤師などからなる感染対策チームを組織し、感染制御にあたっています。このチームの中心的な役割を担っているのが院内感染管理者です。コロナ禍で行っている感染防止対策について話を聞きました。

感染防止対策は病院として基本となる活動の一つです。院内感染対策チームを中心に以前から対策を行っていましたが、この度の新型コロナウイルスの発生で、より進んだ対策を講じています。

現在、新型コロナウイルスに対応するための定期的な実務者会議で情報を共有しながら、最新の情報に基づいた感染防止対策について話し合いを行っています。安心して患者さんに受診していただくために、患者さんの検温や待合で間隔を空けて座っていただくこと、定期的な換気などはコロナ禍で新たに実施した対策です。また、新型コロナウイルスが流行し始めたころ、マスクやアルコール、使い捨ての手袋などの衛生用品が世界的に不足しましたが、これらの確保も感染対策チームの重要な役割となっています。



院内感染管理者
（臨床検査技師）

大久保 恵子

最新の医療疫学に基づき、院内の感染防止を目的とした様々な取り組みを行い、安全で良質な医療が提供できるよう指導を行う役割を担っています。

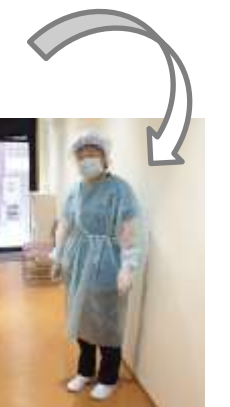


実務者会議の様子

発熱している患者さん専用の発熱外来を設置したことも新たに実施した大きな取り組みです。発熱しているかたと動線を分けることで、他の患者さんが安心して受診できるような環境を作っています。また、発熱外来では医師や看護師などの医療従事者が、専用の防護服を着用し患者さんの対応にあたりますが、正しく着用しないとかえって感染を広げることになるので、何度も研修会を行い、ここに関わるすべての医療従事者が正しく着用できるようにしています。



職員が発熱外来へ入室するための準備室内には着脱手順をマニュアル化して掲示。



正しく防護服を装着し、いざ入室！

【小児の患者さんについて】

小児の患者さんは、自分の症状を訴えとして現すことが難しいため、非接触性体温計ではなく腋窩（わき）で検温していただいています。測定結果のばらつきを減らす効果が期待できます。

【発熱で受診する患者さんについて】

院内にお入りいただく前に、過去2週間程度の行動履歴などを詳しく聞き取りしています。その後、腋窩での検温や症状の聞き取りを行い、医師の判断によりPCR検査を実施します。

当院ではこのような取り組みを通して、できる限り患者さんの不安を取り除くための対策をしています。受診に対して不安があるかたは、お気軽にご相談ください。



検体を採取するための訓練

発熱外来に潜入！



発熱外来専用入口は2つ設置。到着した患者さんはインターフォンを押してもらい、職員が本人確認し、入室を誘導。



患者待合室。患者さんが複数になった場合の感染防止とプライバシー保護のため、動線を分けて一つの部屋を間仕切りし待合は複数設置。



待合室全体にはサーキュレーターを設置し、部屋を暖めながら空気の流れを制御。



診察室。発熱外来には飛沫による感染防止と同時に空気の浄化を可能にするクリーンパーテーションを複数設置。



PCR検査で鼻咽頭から検体を採取する際に飛沫などでウイルスや細菌が空气中に広がらないようにするための簡易陰圧装置。



一人の患者さんの診療が終わるごとに、環境面の衛生消毒と換気を実施。